

科目名		授業形態	担当教員名	
心理測定法		講義	藤道 宗人	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
心理測定の方法論およびデータ分析方法について、研究例を参照しながら学習する。言語聴覚士国家試験での出題傾向に沿った知識を得ることを目的とする。				
授業の到達目標				
心理学における代表的な測定法についてその特徴・意義・利用方法を説明することができる。国家試験の当該分野における問題に回答することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	心理測定法の意義と概要 実証的研究としての心理学			
2	心理学研究法の種類 実験／調査法／検査法／面接法／観察法			
3	質問紙調査法 質問紙法について／標本抽出／SD法			
4	尺度構成法 測定の水準／尺度構成法とは／評定法／多次元尺度構成法			
5	心理物理学的測定法(1) 刺激閾／弁別閾／主観的等価点／丁度可知差異			
6	心理物理学的測定法(2) 調整法／極限法／恒常法／適応法			
7	心理物理学的測定法(3) マグニチュード推定法／信号検出理論			
8	心理物理学的測定法(4) 恒常誤差／余剰変数の統制／倫理的配慮			
9	心理測定の良いの基準 妥当性／信頼性			
10	統計学とデータ分析(1) 記述統計／相関と回帰			
11	統計学とデータ分析(2) 母集団と標本／推測統計／統計的検定			
12	統計学とデータ分析(3) 回帰分析／因子分析			
13	心理測定とデータ分析 知覚・認知課題／調査課題			
14	学習内容の総括および試験対策			
15	まとめと解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	心理測定法について、国家試験に即した形式の問題を出題する。		
レポート				
小テスト	20%	授業内容について小テストを実施する。結果および取り組みをもとに評価する。		
平常点	20%	授業への出席および授業態度、コメントシートの記入をもとに評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	授業ごとに資料プリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
言語聴覚士のための心理学	山田弘幸		医歯薬出版株式会社	
心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし 補訂版	高野陽太郎		有斐閣	
自由記載				
備考				